

<b>特講・社会福祉学19</b> (コミュニティ・ソーシャルワークI)			科目コード	DT2219
単位数	履修方法	配当年次	担当教員	
1	S(講義)	1年以上	高橋 誠一	

※この科目は9 / 1・2に仙台会場で受講が可能です。受講希望者は6 / 13までに履修登録とスクーリングの申込みが必要です。

### ■スクーリングで学んでほしいこと

ソーシャルワークにおけるケースワーク（個別支援）においてストレングス視点は広く理解されてきましたが、コミュニティ・ワーク（福祉の地域づくり）においても、ストレングス視点は重要なフレームワークです。この統一した視点から、コミュニティ・ソーシャルワーカーと生活支援コーディネーターのコミュニティを基盤とする地域福祉支援活動を理解し、ミクロ、メゾ、マクロの重なり合う生活の場としてのコミュニティに福祉を取り戻すソーシャルワーク実践の理解を深めます。

### ■到達目標

- 1) 地域福祉について住民主体の視点から説明できる。
- 2) 地域福祉実践のインフォーマルな社会的資源と、その活用法が事例をあげて説明できる。
- 3) コミュニティ・ソーシャルワーカーの役割と活動を説明できる。
- 4) 生活支援コーディネーター(地域支えあい推進員)の役割と活動を説明できる。
- 5) コミュニティを基盤としたソーシャルワークの意義と実践のための効果的な手法を説明できる。

### ■講義内容

回数	テーマ	内容
1	総論	コミュニティを基盤としたソーシャルワークの意義
2	地域福祉の展開	「地域共生社会」「地域包括ケア」の背景と展開
3	「我が事・丸ごと」の地域づくりとコミュニティ・ソーシャルワーカー(CSW)の役割と活動	CSWの実践の具体的事例
4	住民主体の地域づくりをどう支援していくのか	パネルディスカッション
5	地域づくりにおける生活支援コーディネーターと協議体の役割と活動	生活支援コーディネーターの実践の具体的事例
6	グループワーク①	住民主体の地域づくりとナチュラルな社会資源の発見方法
7	グループワーク②	住民主体の地域づくりの展開過程
8	まとめ	質疑応答、コミュニティを基盤としたソーシャルワークの実践の整理
9	スクーリング試験	

### ■講義の進め方

配付資料をもとにパワーポイントを使用し、途中ビデオなども見ながら講義を進めます。座学だけでなく、グループワークも行いますので、積極的参加が必須条件です。

## ■スクーリング 評価基準

授業への参加状況30%＋スクーリング試験70%（持込可）。試験では、とくに「住民主体の地域福祉」についての理解を問います。

## ■スクーリング時の教科書

未定

## ■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10時間）

「地域共生社会」について、インターネットや専門雑誌、書籍などで調べてください。

その他講義内容の関心あるテーマについて、自分なりに学びたいことを考えてきてください。

## ■スクーリング事後学習（学習時間の目安：20～25時間）

講義内容からさらに深く学びたいと考えたことに対して、調べてみてください。

## ■「卒業までに身につけてほしい力」との関連

とくに「社会への関心と理解」「自他尊重的コミュニケーション力」「問題解決力」「社会貢献力」を身につけてほしい。

## ■参考図書

豊中市社会福祉協議会編『社協の醍醐味―住民と行政とともに創る福祉のまち』CLC（全国コミュニティライフサポートセンター）、2010年

勝部麗子著『ひとりぼっちをつくらない：コミュニティソーシャルワーカーの仕事』全国社会福祉協議会、2016年

高橋誠一・志水田鶴子ほか編著『生活支援コーディネーター養成テキスト』CLC、2016年

高橋誠一・志水田鶴子ほか編著『改正介護保険における「新しい地域支援事業」の生活支援コーディネーターと協議体』CLC、2015年

池田昌弘著『マンガでわかる生活支援コーディネーターのための地域支え合いの見つけ方・活かし方』CLC、2016年

## ■ゲストスピーカー紹介

豊中市社会福祉協議会 福祉推進室長 勝部麗子

特定非営利活動法人 全国コミュニティライフサポートセンター（CLC） 理事長 池田昌弘

仙台白百合女子大学 准教授 志水田鶴子

## ■受講上の特例

本科目の1～4コマめ（9/1 10：30～17：40）、または3～4コマめ（9/1 14：30～17：40）のみは、履修登録なしでも受講を可能とします（いずれも受講料2,000円：単位修得不可）。

1～4コマめ、または3～4コマめのみを受講を希望される方は、書面（メール・FAX・郵送）で、①「特講・社会福祉学19（コミュニティ・ソーシャルワーク1）」1～4コマめ、または3～4コマめ受講希望の旨と、②学籍番号・氏名を記載のうえ、通信教育部あてに6/13までにお申込みください。おって受講料の納入依頼書をお送りいたします。